

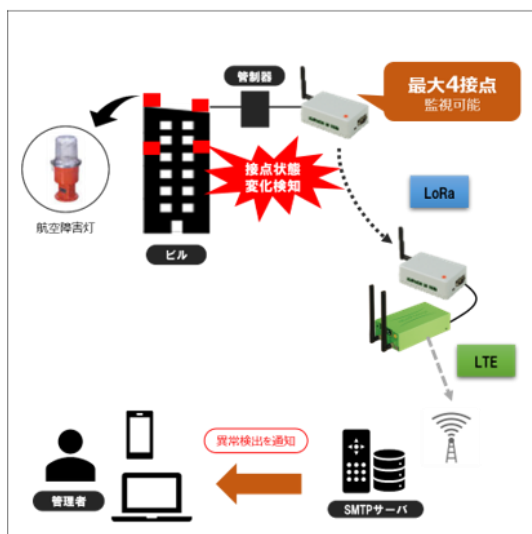
人の監視が届かない高所の機器も即座に把握『航空障害灯異常監視』

■課題

航空障害灯は、航空機の航行の安全を確保するため、地上からの高さ 60m を超える建造物に設置が義務付けられています。また、航空障害灯の運用・管理にも規制があり、故障などで機能を損なった状態では、航空機に対して危険を及ぼすため、早急に機能を復旧させなければなりません。

■概要・期待効果

航空障害灯に接続された管制機の信号状態を監視し、断芯を検知すると LoRa 無線で送信。異常検知情報をメール送信することで、航空障害灯の状態を瞬時に知ることができます。超高層建築物など人の目では監視が難しい場所に設置していてもリアルタイムで異常をキャッチし早急に復旧作業に取り掛かることが可能になります。



【使用機器・サービス】

■ SpreadRouter-LTE

- ・接点状態の異常を検知した場合、メールを送信

■ SpreadRouter-MW

- ・接点状態を取得(デジタル入力 4ch)
- ・LoRa 無線通信